

1. Zoomとは

- ・ Zoom <https://zoom.us/>
- ・ Zoomヘルプセンター（利用ガイド） <https://support.zoom.us/hc/ja>
- ・ 動作確認用のテストサービス <http://zoom.us/test>
- ・ お役立ちサイト（日商エレクトロニクス株式会社のZoomサポートサイト）
<https://zoom-support.nissho-ele.co.jp/hc/ja>

2. 用語

・ ミーティング

zoomのミーティングは、すべての参加者がビデオ、オーディオ、画面を共有できるように設計されています。参加者は自身でマイクとビデオをオンまたはオフにすることが可能です。

・ ウェビナー

Zoomのウェビナーはホストと指定されたパネリストがビデオ、オーディオ、画面を共有できるように設計されています。ウェビナーには、視聴専用の出席者（視聴者）が存在します。視聴者は、Q&A、チャットを通じて、やり取りができます。ホスト、共同ホストは視聴者のミュート解除をすることもできます。

・ ホスト

ミーティングまたはウェビナーの管理者。応用物理学会事務局（学生アルバイト含む）が担当します。

・ 共同ホスト

座長が担当します。座長入室後、ホストが座長を探し、「共同ホスト」の役割を割り当てます。

3. ご準備いただくもの（オンライン参加される場合）

・ 端末

ZoomではWindows、Mac、Linux、Android（スマートフォン・タブレット等）、iOS（iPad、iPhone等）に対応しています。サポートされている利用可能な端末（OSのバージョン等）を確認しておいてください。

Zoomをパソコンにインストールせず、ウェブブラウザでZoomを使用することもできます。ウェブブラウザによって機能制限がございます。ウェブブラウザでZoomを使用される場合は、機能制限のないGoogle Chromeのご利用をお勧めいたします。詳細は、以下のページでご確認ください。

<https://zoom-support.nissho-ele.co.jp/hc/ja/articles/360021584812-Web%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%82%B6%E3%81%A7Zoom%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%88%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B->

・ ネットワーク

安定して利用するためには有線接続あるいは高速なWi-Fi接続が望ましいですが、安定していれば携帯電話回線でも利用可能です。ただし、事前に動作確認しておいてください。

・ 附属設備

一人でビデオ会議に参加する場合は、無用なエコー（音の送り返し）を発生させないためにも、外付けのビデオ会議用スピーカ・マイクの利用をお勧めいたします。

・ カメラ

発表者と座長、質疑の際の質問者以外は映像の送出手を控えてください。

4. 事前準備（オンライン参加の場合）

a) 事前のインストールと動作確認

Zoomビデオ会議システムを初めて利用する時は、アプリケーションのダウンロードとインストールが必要です。ネットワークの状況が悪いとダウンロードに時間がかかり会議の開始に間に合わないことがあるため、事前に動作確認しておくことをお勧めいたします。

Zoomは最新版でないと使えない機能があるので、アプリケーションをインストール済みであっても利用の前に最新版をインストールしてください。

●最新バージョンはどこでダウンロードできますか？

[https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362233-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362233-%E6%9C%80%E6%96%B0%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%81%AF%E3%81%A9%E3%81%93%E3%81%A7%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B-)

[%E6%9C%80%E6%96%B0%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%81%AF%E3%81%A9%E3%81%93%E3%81%A7%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B-](https://support.zoom.us/hc/ja/articles/201362233-%E6%9C%80%E6%96%B0%E3%83%90%E3%83%BC%E3%82%B8%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%81%AF%E3%81%A9%E3%81%93%E3%81%A7%E3%83%80%E3%82%A6%E3%83%B3%E3%83%AD%E3%83%BC%E3%83%89%E3%81%A7%E3%81%8D%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B-)

b) デバイスの認識確認

外付けのスピーカ・マイクやWebカメラを接続する場合は、インストールしたアプリが、利用したいデバイスを正しく認識するか、また音声の送受信に問題がないか、事前に確認してください。

c) 参加者名の設定

参加者名は座長が発表者を識別しやすいよう、氏名や所属の情報を含むようにすることが望まれます。会議室に接続後でも変更可能です。

Zoomでのユーザ名（表示名）は「講演番号：氏名漢字(所属略称)」としてください。

✓ 登壇者の例) 9a-Z01-1：応物太郎(東大)

✓ 座長の例) 座長：応物次郎(産総研)

✓ 聴講者の例) 応物三郎(日立)

※登壇者や座長はセッションごとに表示名を変更してください

d) 会議室の最大人数制限

応用物理学会では、口頭講演・ポスター講演（zoomミーティング）は定員300名※、シンポジウム・チュートリアル（zoomウェビナー）は定員500名と1000名のプランを契約しています。